



今年も豊作

### 清水神社の秋祭り

11月11日、清水神社の秋祭りが行われました。この日は初お目見えの地元囃子連とすべて手作りの大人神輿1基、子供神輿2基が北清水全域を練り歩き、午後からは神社の境内で、カラオケ大会や無料食べ放題・飲み放題コーナーが開かれ、老若男女そろって秋晴れの一日を楽しんでいました。



祭りだワッショイ



今年からは自前の囃子連もできました

## 俳壇



生も死も医師にゆだねて秋の風  
歩を止めて露に汚れし裾はたく  
遠山に雲立ちにけり蕎麦の花  
秋ざくら遠く児がゆれ海がゆれ  
一本一本露をふりきり胡瓜もぐ  
朝露や手にまつわれる小葉を抜く  
サヨナラと露の車窓に指で書く  
刈り終えて神へ供えの小束稲  
朝露や風化仏のみ乾きをり  
朝露に紫式部の実の光り  
切りしあと萼の芽やさし露しとど

(選者)

- 鈴木 草庵
- 鈴木 南知
- 津田 若菜
- 成田栄三郎
- 行方はじめ
- 藤代 ゆう
- 山口 一秋
- 若梅あやめ
- 宇井 芝童
- 海保 きみ
- 土屋 栗水

### 私のひとこと



今年から米の生産調整が一段と強化されたにもかかわらず、作況指数によると四年連続の豊作で三度目の過剰時代を迎えようとしています。



日本は今や世界でもトップクラスの長寿国になりました。その日本で、米の消費が落ちこんでいるのは悲しい限りです。

過剰在庫をかかえる現在、うれしいことにわが千葉県産の「コシヒカリ」の売れゆきはとてよく、消費地から引っぱりだこだそうです。これからは、益々良質米志向になっていくでしょう。

私も米を扱う者の一人として、味の良い米、消費者の皆様に喜んで食べてもらえる「米づくり」をしなればならないと痛感し、本年より一部の生産者の協力をいただきまして、有機栽培米（天然の堆肥、魚カス、

病気もすっきり欧米型になってきています。そこで、日本食(米飯)を見直すべき時がきたようです。米を中心にした日本人の食生活はけっして間違っていないかと思えます。その証拠に

ナタネ粕及び骨粉等使用)に取り組んだ次第です。これがおいしい横芝米として世間に認められ、また、消費拡大につながり、少しでも「おいしい米づくり」の手伝いが出れば幸いです。